

Healthy menu —新単元 Lesson 8—

高学年外国語科・家庭科 9月 30Q (10時間)
 附属新潟小学校 教諭 茂木 智弘

1 本単元で目指す姿

Healthy menu を外国の給食システムで選んだり、提供したりするために、**妥当な料理とそれをやり取りするための英語とを結び付け、コミュニケーションを図る子ども**

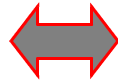
(カフェテリア形式の給食システムで Healthy menu を選んだり、勧めたりするために)「What would you like?と聞いたら、肉料理ばかり頼んできたので、the balance is not good.と云い、1品野菜料理を勧めた」「肉料理をたくさん注文した。でも、調理員の人がバランスが悪いと言ってサラダを勧めてきた。ぼくもそう思ったので、ナゲットをやめてサラダにした」などとやり取りする子ども

2 本単元で育成する資質・能力

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ○丁寧な表現に使う would の役割に関わる気付き ○注文のやり取りに必要な語彙や基本的な英語表現の知識 ○英語で注文のやり取りをするために必要な技能 	<ul style="list-style-type: none"> ○世界の給食システムで1食分の給食を選ぶために、定型表現で注文をしたり、受けたりする力 ○Healthy menu するために、どんな料理がよいか考え、表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○相手やその背景にある言語や文化を尊重しようとする態度 ○相手意識をもって、自主的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○食材の栄養素と健康に関する知識 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の経験と関連付けて、1食分のバランスの摂れた食事を考えること 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活をよりよく、楽しむとする態度

3 資質・能力の関連

[第6学年] 家庭科
工夫しようおいしい食事



[高学年] 外国語科
Healthy menu —新単元 Lesson 8—

4 単元の計画

	【学習活動】 ☆資質・能力	【働き掛け】	Q
家庭 (一次)	<ul style="list-style-type: none"> ○考えられる栄養素を挙げる。 <ul style="list-style-type: none"> ・たんぱく質ってあるよね。 ・ご飯やパンは淡水化物だよ。 ○材料と栄養素を関係付ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・野菜類はやっぱりビタミンだよ。 ・でも、イモ類ってちょっと違う。 ○料理と栄養素を関係付ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・ごはんとおかず。おかずには、たんぱく質や脂質や無機質などが含まれている。ビタミンは、副菜や汁物で摂れているね。 <p>★家庭科①②</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 食事に含まれる栄養素について考えさせる。 ◆ 既存の材料を基に、五大栄養素について説明する。 ◆ 給食1食分の栄養素について考えさせる。 	6Q 2時間
外国語 (二次)	<ul style="list-style-type: none"> ○ Would の表現や食べ物・料理の語彙に慣れ親しむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ What would you like ?/I'd like milk. ○ 様々な表現を比較し、違いについて考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 聞き返す時は、What do you want ? と言って言っている。 ・ What would you like?は、なんかかしこまっているね。 ★外国語科① ○ 世界の給食と日本の給食を比べて、共通点や相違点について気付く。 <p>○ アメリカは、バイキング方式なんだ。いいなあ。 ★外国語科③</p> <p>カフェテリア方式の給食を体験しよう!</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 解決のために必要な会話を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ チャンツやゲームを通して、必要な言語材料に慣れ親しませる。 ◆ デモンストレーションから「○○は、いかが」の様々な表現を提示する。 ◆ 世界の給食の実情についての資料を提示し、どんな英語を使うかを問う。 【働き掛け1】 	18Q 6時間

調理員 (C=Cook)	児童 (S=Student)
C: Hi!	S: Hello!
C: What would you like?	S: I'd like nuggets.
C: Here you are.	S: Thank you.
C: You are welcome.	
C: Bye.	S: Good-bye.

- 自分が考えた会話とデモンストレーションを比べる。
 - ・ Would you...??? でも、カロリーオーバーって言っているのかな？
 - ・ そっか、Healthy じゃなかったら、なんか言わないといけないんだ。
- デモンストレーションから分かったことを考える。
 - ・ Healthy menu じゃなかった時に、□ □が多すぎるって言っていた。

○ (友達とタブレット端末の会話を修正・追加しながら)ここにWould you like 「料理名」?を入れるといい。
 ☆「協働性」☆「ツール活用能力」

- ・ よし、じゃあ練習をやってみよう。
- 課題解決のために、繰り返しコミュニケーションを図る。

調理員 (C=Cook)	児童 (S=Student)
C: Hi!	S: Hello!
C: What would you like?	S: I'd like two hamburgers,
C: On, no. the balance is not good. Too many nuggets.	nuggets and orange juice.
C: Would you like salad?	S: (サラダのカードみながら)
C: Here you are.	Yes, please.
C: You are welcome.	S: Thank you.
C: Bye.	S: Good-bye.

☆家庭科① ☆外国語科①②

- 選んだ1食分の給食について理由や解説を書く。

- ぼくは、栄養バランスが良くなるようにビタミンなどが豊富なサラダを選んだ。また、ジュースは、牛乳にすることでたんぱく質が得られる。炭水化物は、スパゲッティで摂った。
- 私は、必ずサイドメニューでサラダを薦めるようにした。理由は、好きなもので選ぶとビタミンが不足するから。☆家庭科①☆「ツール活用能力」

- 使った英語とそれをどのように使ったかを書く。

- (カフェテリア形式の給食システムで Healthy menu を選んだり、薦めたりするために)
- What would you like?と聞いたら、肉料理ばかり頼んできたので、the balance is not good.と言い、1品野菜料理を薦めた。
 - 肉料理をたくさん注文した。でも、調理員の方がバランスが悪いと言ってサラダを勧めてきた。ぼくもそう思ったので、ナゲットをやめてサラダにした。 ☆外国語科② ☆「ツール活用能力」

家庭(二次)

- 料理と栄養素を関係付けて、バランスのよい献立を立てる。
 - ・ 栄養がありそうに見えても材料を考えないとそうでもないものがある。 ☆家庭科①②
- 調理をしながら、食材と栄養バランスの関係を考える。
 - ・ 本当だ。調理をしてみると分からなかった材料があって、栄養素のバランスが違ってくる。 ☆家庭科①②③

◆ ALT と HRT を中心に複数回のデモンストレーションを提示し、班や学級全体で話し合わせる。 【働き掛け2】

※デモンストレーション

例1

調理員 (Cook)	児童 (Student)
C: Hi!	S: Hello!
C: What would you like?	S: I'd like a hamburger, French fries,
C: Wow, the balance is not good. Too many nuggets.	nuggets, orange juice.
C: Would you like a salad?	S: Oh, Ok. A salad, please.
C: Here you are.	S: Thank you.
C: You are welcome.	
C: Bye!	S: See you again.

例2

調理員 (Cook)	児童 (Student)
C: Hi!	S: Hello!
C: What would you like?	S: I'd like salad and orange juice.
C: Really? It's not enough protein at all.	
C: Would you like hamburger?	S: Oh, no, too many.
C: Ok.	And, I don't like a hamburger.
C: Would you like nuggets?	S: Yes, please.
C: Here you are.	S: Thank you.
C: You are welcome.	
C: Bye!	S: See you again.

◆ カフェテリア方式で Healthy menu を選んだり、提供したりするために繰り返しコミュニケーションを図らせ、1食分の給食をワークシートに記入させる。 【働き掛け3】

◆ ワークシートやタツ末の記録や動画を基に、外国の給食システム体験を振り返らせる。 【働き掛け4】

- ◆ 1食分の献立を考えさせる。

- ◆ 実際に調理をさせる。

6Q2時間